

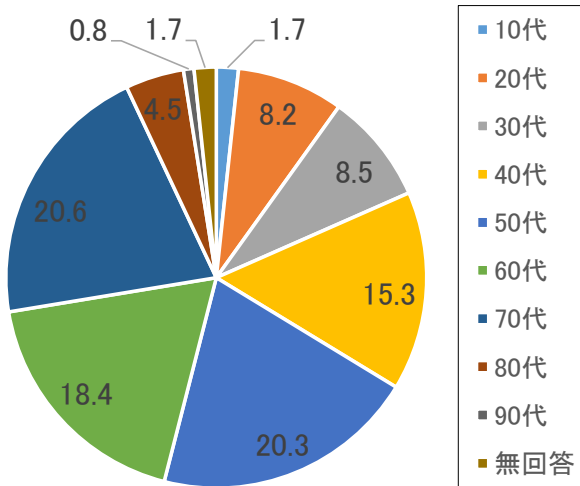
【資料編】

上尾丸山公園の大池と魚釣りの在り方に関するアンケート

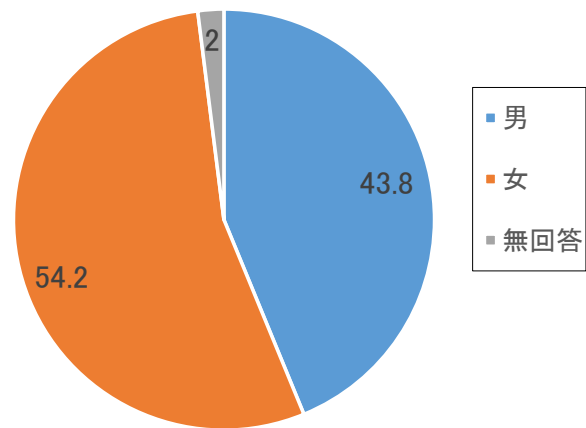
令和2年11月に市内在住の18歳以上の市民の中から1000名を無作為に選定し、上尾丸山公園の水辺再生活動と、今後の公園づくりの方向性や大池における魚釣りの在り方についてのご意見を伺うために市民アンケートを実施しました。本アンケートはコラムを読んでいただき回答する形式であり、354名の方より回答をいただきました。結果を以下に示します。

【基本事項の質問】

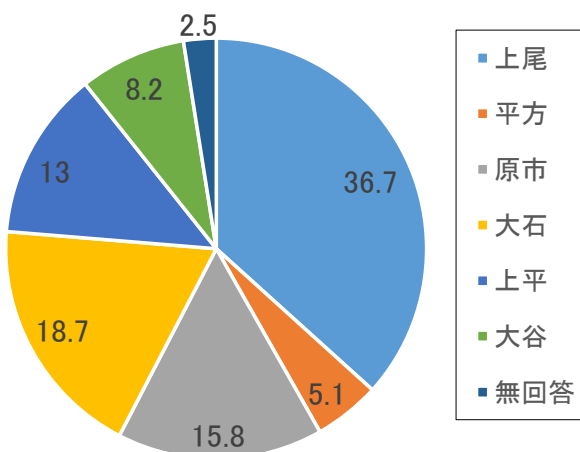
質問1 あなたの年代を記入してください。



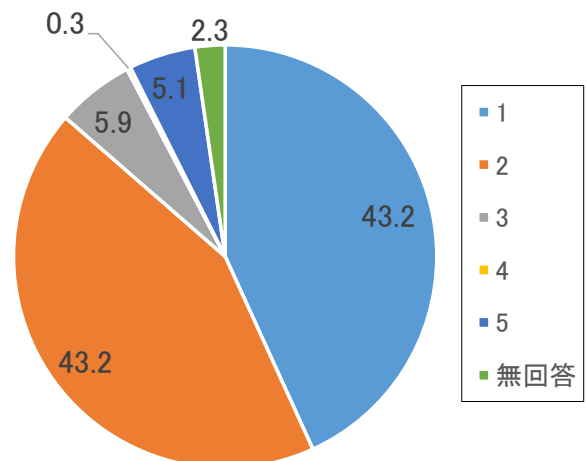
質問2 あなたの性別を記入してください。



質問3 お住いの地区を教えてください。



質問4 あなたは上尾丸山公園を1年に概ね何度利用されますか。



コラム1 上尾丸山公園の個性を生かした公園づくりの方向性について

- ▼荒川の中流域に位置する上尾市西部は、大宮台地から荒川の低地に下る起伏に富んだ地形で、樹林や農地、湿地などの多様な自然環境で形成されています。こうした環境は在来の生き物(以下、在来種)にとっても貴重な生息地であり、希少なサクラソウなどが確認されています。
- ▼この地域にある上尾丸山公園は昭和53年(1978年)5月に「水と緑の調和」をテーマに開園しました。公園内の大池は、台地の斜面地の湧水とポンプで汲み上げた地下水が流れ込み、その水は公園の西側の水路を経て荒川へ流れています。公園の西側にはハンノキやヨシなどの湿地が広がっており、大宮台地に面した斜面林も残されています。
- ▼こうした園内にある自然を守り、在来種の生育に配慮した維持管理を行うことで、上尾丸山公園は美しい水辺の景観と多くの野生生物に出会える公園になる可能性が高いと考えられます。その景観や野生生物たちは地域の新たなシンボルとして、市民の皆様にも親しまれ、次世代に引き継がれる大切な存在になると考えられるため、市では同公園の自然再生に取り組んでいます。



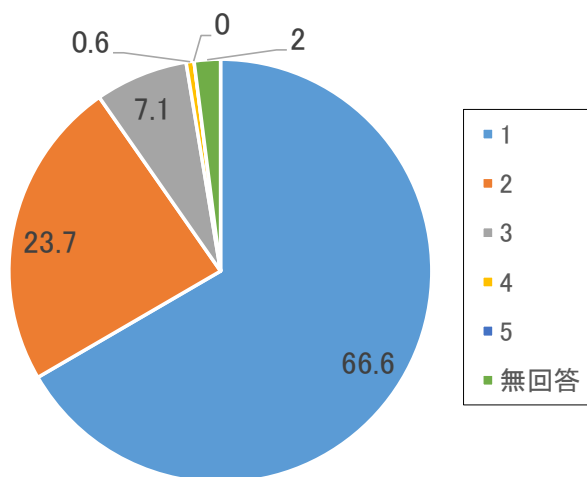
公園の造成時の航空写真



上尾丸山公園内の大池と台地の斜面林

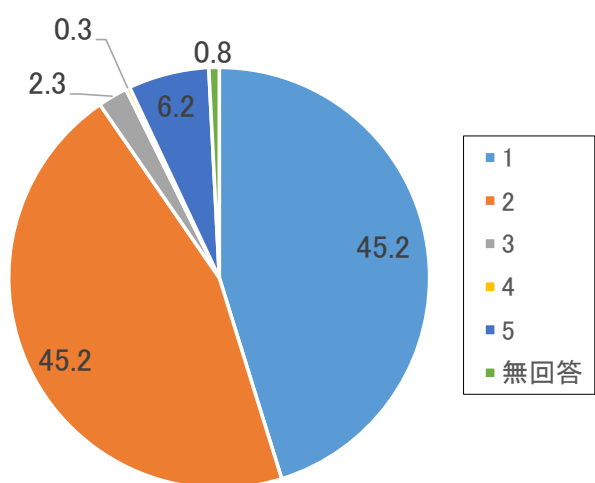
質問1-1 コラム1に示した公園づくりの方向性をどう思いますか。

- ①とても賛成 ②やや賛成 ③どちらでもない ④やや反対 ⑤反対



質問 1 - 2 上尾丸山公園の自然再生と在来種の生育に配慮した管理と利用の方向性について、あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

- ①自然再生と在来種の保全は非常に重要である。自然や野生生物と距離を取り、それらを静かに見守ることを優先したうえで、自然に影響する行動は極力さけて公園を利用したい。
- ②自然再生と在来種の保全は重要である。しかし、ある程度それらの自然や野生生物に近づき、ふれあいながら公園を利用したい。
- ③自然再生と在来種の保全ができればよいが、自然にあまり興味がないので、自然に関係しない施設も充実してほしい。
(例えば、 _____ (に関する施設))
- ④自然再生と在来種の保全は必要ない。自然に関係のない公園利用を楽しみたい。
- ⑤わからない



[③で記述のあった施設]

- ・釣りができる場所
- ・遊具

コラム2 市民と行政の協働による水辺再生事業について

- ▼最近、公園内の大池では、毎年のようにアオコが発生し、景観の悪化やカビ臭が発生しています。平成25年には埼玉県大久保浄水場から、大池のカビ臭が水道水の水質に影響しているとして改善指導を受けたこともあり、池の水質が人々の生活に影響を与えかねない状況でした。
- ▼このため、市では平成30年度に「上尾丸山公園大池かいぼりシンポジウム」を開催し、翌令和元年度に「かいぼり」を実施しました。かいぼりとは農閑期に農業用ため池の水を抜き、泥の掻き出しや護岸の修繕、池底の天日干しなどを行う作業のことです。近年は、外来種の駆除や水質改善を目的として公園の池でも実施されています。
- ▼大池のかいぼりは令和元年11月に池の水を抜き始め、12月21日・22日の2日間で「上尾丸山公園大かいぼり祭（魚捕りイベント）」を行いました。畠山市長はじめ、市民ボランティア、地域団体、市関係者など約270名が参加しました。このかいぼりでは、在来種の豊かな自然を再生し、水質改善へつなげるために、魚捕りだけではなく、池底の天日干しや池の中に水深が浅い湿地のような環境を創出する浅場造りにも取り組みました。このとき捕獲した在来種は園内の別の池で保護し、外来種は駆除しました。
- ▼かいぼりや浅場づくりは、市民と行政の協働で行いました。かいぼり前に公募し、事前に研修を受けた市民ボランティア「上尾水辺守（あげおみずべもり）」と、小学生以上を対象にした当日参加の市民ボランティアが集まり、多くの方々にご協力いただきました。上尾水辺守は、かいぼりが終わった今年度も、上尾丸山公園の生き物調査や外来種の駆除、市民への普及啓発活動等の水辺再生活動にご協力いただいております。
- ▼このように市民参加型の事業としたことで、市民が、池の中に入ったり、魚捕りをしたり、普段は見るのが難しい在来種を見つけたりと、日常生活では体験することが難しい自然体験ができたことや、上尾丸山公園に愛着を持っていただくきっかけになったと考えております。
- ▼今年度は、上尾水辺守と当日集まった市民ボランティアとともに、かいぼりでは駆除が難しいアメリカザリガニなどの外来種の駆除イベントを行っています。このイベントは、外来種が自然環境に与える悪影響を普及し、自然を再生するためには外来種の駆除や環境の整備を行うことが大切だと知っていただくことを目的としております。



かいぼり前の大池のアオコの様子



大かいぼり祭の集合写真



大かいぼり祭の魚捕りの様子



在来種の展示と外来種問題の普及啓発の様子



池底観察会の様子



浅場造りの様子



アメリカザリガニの駆除イベントの様子

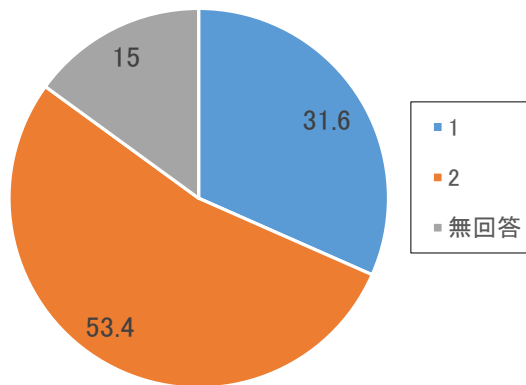


アメリカザリガニに関するミニレクチャー

※これらの取り組みについては、みどり公園課のホームページに詳しい情報が掲載してあります。

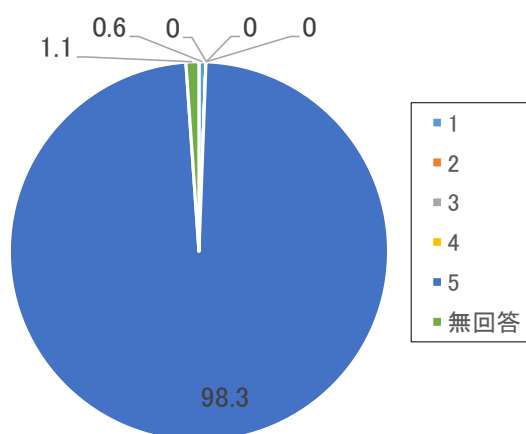
質問 2-1 コラム 2にあるような大池の課題やかいぼり事業による取り組みを知っていましたか。

- ①知っていた。
- ②知らなかった。



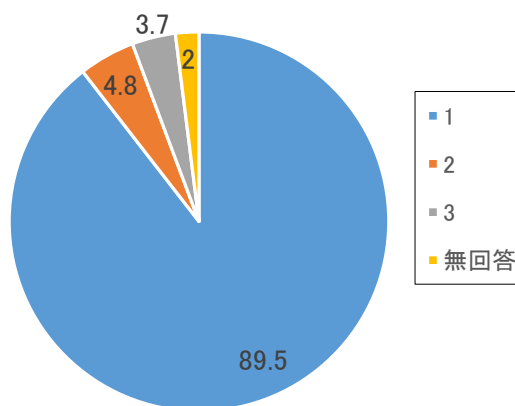
質問 2-2 かいぼり事業に参加しましたか。

- ①昨年度の上尾丸山公園大かいぼり祭（魚釣りイベント）に参加した。
- ②昨年度の上尾丸山公園池干し祭の池底観察会に参加した。
- ③昨年度の上尾丸山公園池干し祭の浅場造りに参加した。
- ④今年度のアメリカザリガニの駆除イベントに参加した。
- ⑤参加したことはない。



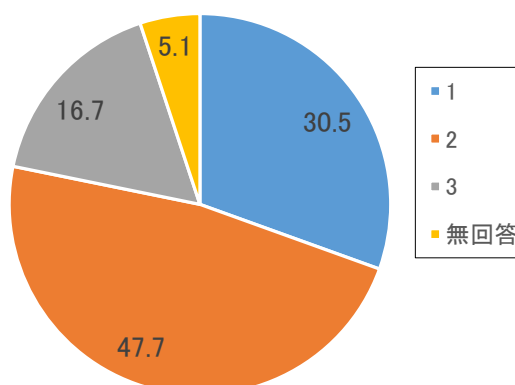
質問 2-3 上尾水辺守（市民ボランティア）との協働による水辺再生活動についてどう思いますか。

- ①公園をよくするためにボランティアが活動してくれるのはありがたい。
- ②公園の管理は行政がやるべきだ。
- ③ボランティアの活動には興味がない。



質問 2-4 外来種の駆除作業や浅場の整備などの水辺再生の活動に参加したいですか。

- ①参加したい。
- ②参加したくない。
- ③興味がない。



コラム3 かいぼり後の大池の自然状況について

▼かいぼりで約3ヶ月間池底の天日干しをした大池は、令和2年4月に池の水を戻し、その後はかいぼりによる自然再生効果を検証するため、在来種の回復状況の把握と水質測定を行っています。以下では、今年、かいぼり後の大池で見られた様々な自然の状況をご紹介します。

(1) 大池の水質

令和2年5月

池の底がくっきりと見えるほどに水の透明度が上昇し、在来種の稚魚が、園路を歩いていると確認できるほどでした。また、池底からは水草が芽生えているのが確認されました。



大池の池底が見えるほどの水の透明度



在来種(モツゴ)の稚魚の群れ

令和2年6月～8月

糸状の藻類が発生し、主に大池の北側で確認されました。かいぼり後に池の水が透明になりすぎて、藻類が急激に増えたためと考えられます。また、夏になるとミドリムシやアオコが水面に浮きました。1年を通して、夏は高温や雨不足などの影響で水質が悪化しやすい時期ですが、水質を安定させる池の自浄作用の回復が十分ではないと考えられます。



大池で発生した糸状の藻類(6月)



大池の水面に浮いたアカマクミドリムシ(7月)

(2) 大池の在来種

令和2年6月～8月

かいぼり時に造った「浅場」で、多くの水草や湿地の植物が再生しました。この浅場周辺では希少なトウキョウダルマガエルや、チョウトンボなどが確認されました。



浅場に再生した水草群落



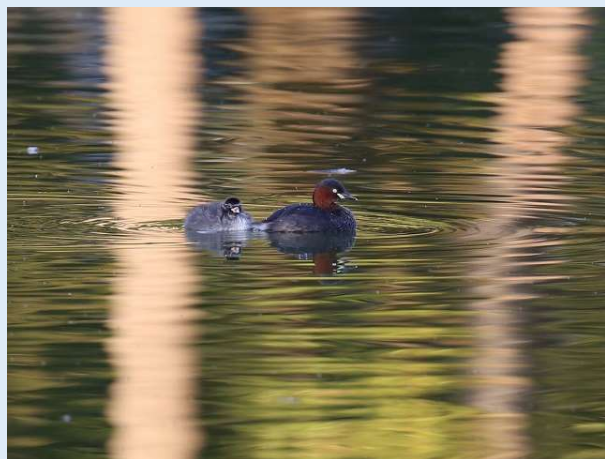
浅場内のヒシやウキクサの仲間

令和2年6月～10月

かいぼり後の大池では、在来種の小魚やエビ類などの小型の水生生物が増えています。また、令和2年6月と10月には、小型の水生生物を餌とする水鳥のカイツブリのヒナが確認されました。上尾丸山公園におけるカイツブリの繁殖は、かいぼり前の事前調査では確認されていませんでした。



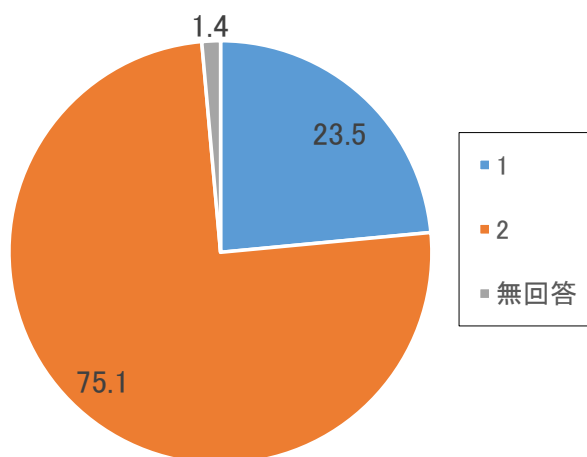
頻繁に見られるようになったカイツブリ



大池で誕生したカイツブリのヒナと親鳥

質問 3-1 令和2年4月から11月までの間、かいぼり後の上尾丸山公園に行きましたか。

- ①行った。
- ②行かなかった。

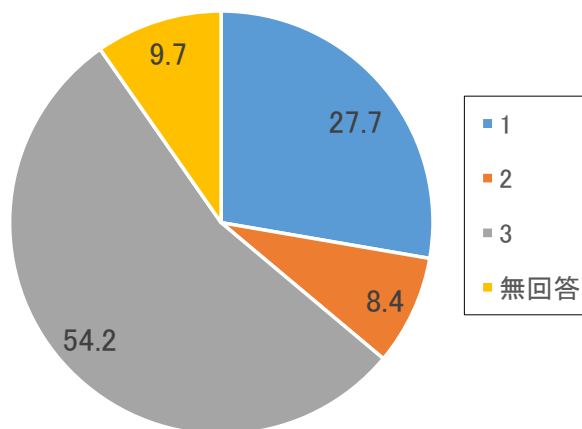
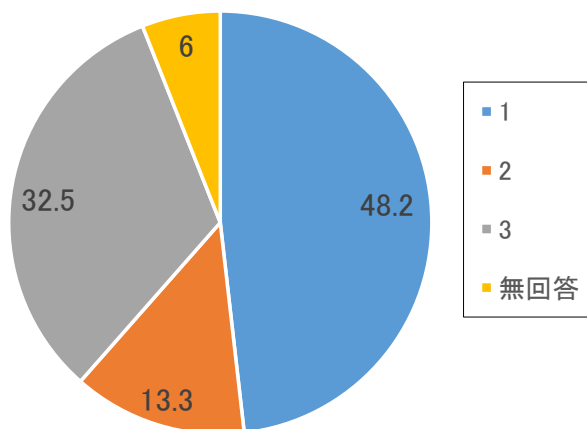


質問 3-2 大池や公園内の自然について、かいぼり前と比較して変化を感じましたか。以下の表に「○」をつけてください。よろしければ感じた変化をお書きください。

	①変化を感じた	②変化を感じなかった	③わからない	具体的な変化について（自由記述）
水質について				
生き物について				

水質について ※回答数83名

生き物について ※回答数83名



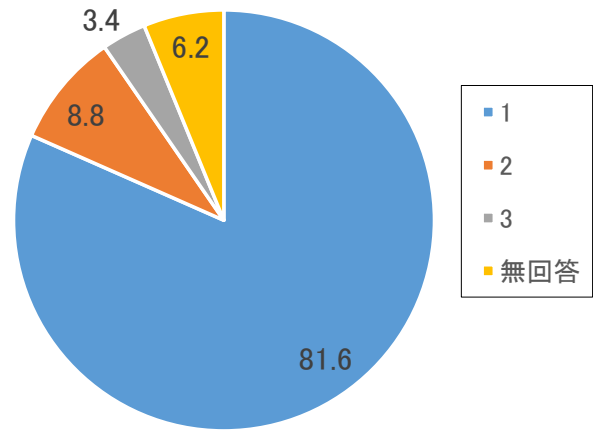
[具体的な変化についての主な記述]

水質について：少しきれいになった。水質向上、景観がよくなった。あいかわらずにごっている。

生き物について：水鳥が増えた。カイツブリがよく見られ、雛が見られた。鯉がいなかった。小魚が増えた。サギやゴイサギを見るようになった。水鳥等もいきいきとした様子。

質問 3-3 コラム 3 のような在来種の動植物が回復しつつある状況について、どう思われますか。

- ①多様な在来種が生息している公園は魅力がある。
- ②在来種でも外来種でも公園の魅力は変わらない。
- ③生き物には興味がない。

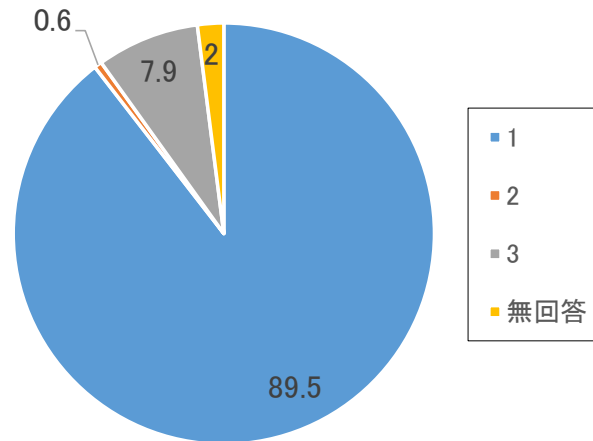


質問 3-4 水辺再生活動を続ければ、さらに多くの在来種に出会える可能性があります。この取り組みについてどう思いますか。

- ①これからも継続して取り組んでほしい。
- ②やらないほうがよい。理由 (_____)
- ③わからない。

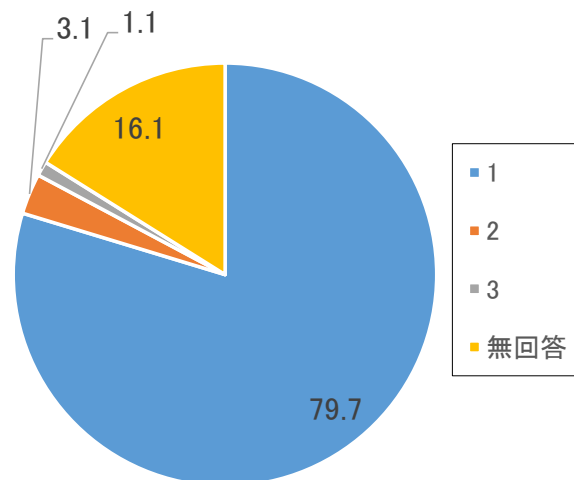
[②の理由]

- ・水質環境を守るため
- ・強い種が残るのは自然の摂理であり、保護しないと生き残れない種は滅びるのが自然。「自然淘汰」という言葉があるように、種の保存は大学の研究機関や自然国立公園が行うべきと思う。



質問 3-5 上尾丸山公園の水辺の景観について、どのようになってもらいたいですか。

- ①水草や野鳥などの在来種が豊かな、美しい水辺になってほしい。
- ②水面のみの水辺の景観でもよい。
- ③水辺の景観には興味がない。



コラム4 自然再生と魚釣りの関係性及び大池の利用について

- ▼上尾丸山公園では長年、コイやヘラブナなどの魚釣りが楽しまれておりました。魚釣りは、自然のなかでゆったりした時間を過ごしながら、老若男女を問わず楽しむことができるレクリエーションです。
- ▼一方、残置された釣り糸や釣り針で水鳥が怪我をしたり、ねり餌やまき餌が水の透明度低下の一因となることで、自然や野生生物のバランスが崩れるきっかけとなる可能性があります。かいぼり時には、釣り竿、釣り針、餌袋などの用具が泥の中からたくさん見つかりました。
- ▼大池において多様な在来種を再生し、水質改善につなげるため、昨年度のかいぼりで、捕獲された外来種はすべて駆除しました。外来種とは、国内外を問わず、周辺地域の外から人の手で持ち込まれた生き物です。外来種の存在は、自然のバランスを崩し、池の自浄作用を低下させる原因になると考えられています。したがって、今の大池には外来種のコイ（飼育型）や国内外来種のヘラブナはいない状況です。
- ▼令和2年4月からは、かいぼりによる自然再生効果の検証を行っています。この検証期間中は、正確な効果検証を行うために大池における魚釣りはご遠慮いただいております。また、植物採集、野鳥などの生き物への餌やり、生き物の持ち込み・持ち出しなども自然のバランスを崩すためご遠慮いただいております。
- ▼浄水場の水質に影響するような大池の水質は改善が必要です。そのことを踏まえて、今後の大池や魚釣りの在り方について、市民の皆様とともに検討していきたいと考えております。



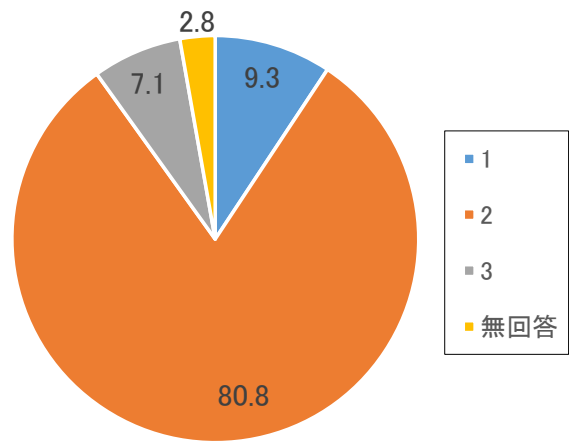
魚釣りがされていたころの大池の様子
池岸や、中の島で魚釣りをしている人がいました



大池で見つかった魚釣りの用具
水鳥にからまったり、刺さったりする可能性があります

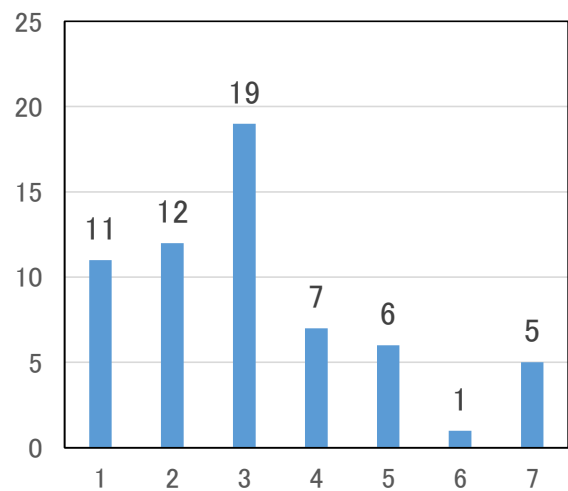
質問 4-1 これまで上尾丸山公園で魚釣りを楽しまれたことはありますか。

- ①ある
- ②ない
- ③魚釣りはするが、上尾丸山公園ではやったことがない



質問 4-2 上尾丸山公園で魚釣りをしていた理由は何ですか (複数回答可)。

- ①近所にあるから
- ②駐車場があるから
- ③無料で魚釣りができるから
- ④釣りたい魚がいたから
- ⑤まわりを気にしないで魚釣りができるから
- ⑥釣り仲間と会えるから
- ⑦その他 (_____)



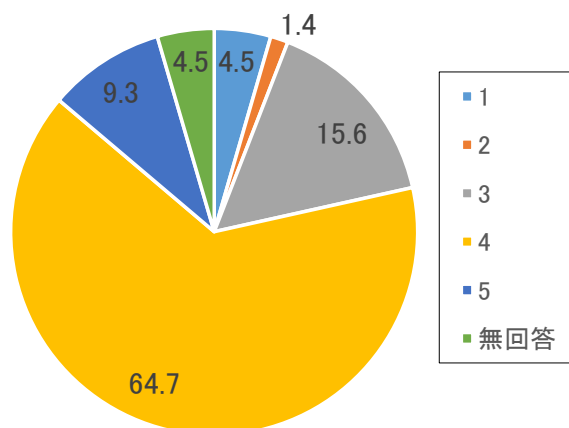
※回答数 3 名

[⑦の記述]

- ・ 子供がいた頃に釣りや散歩を楽しんだ。
- ・ 釣りだけでなく遊具でも遊べる。
- ・ 小学生の頃、友達と魚釣りをした。整備されており安全であるから。
- ・ 主人に誘われて。ペットとも楽しめるから。
- ・ 子供に自然で遊ぶ楽しさを教えたかったから。

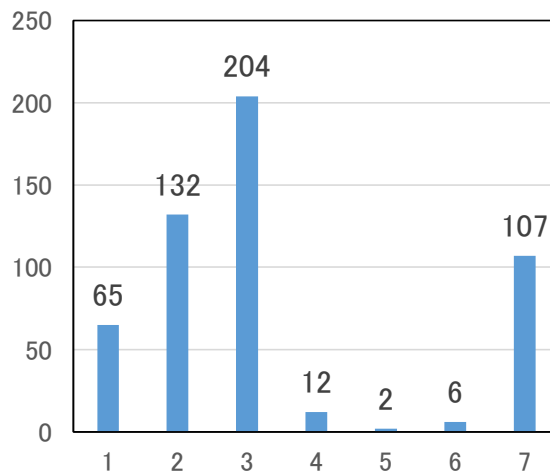
質問 4-3 上尾丸山公園では水辺の自然再生に取り組んでいますが、水質が改善した際は魚釣りをしたいですか。

- ①在来種 (モツゴ、オイカワなど) だけでも魚釣りがしたい。
- ②在来種の小魚の魚釣りであればしなくてもよい。別の場所で魚釣りをする。
- ③魚釣りはしたいが、自然や水質に影響があるのであればしなくてもよい。
- ④魚釣りはしなくてもよい。
- ⑤わからない。



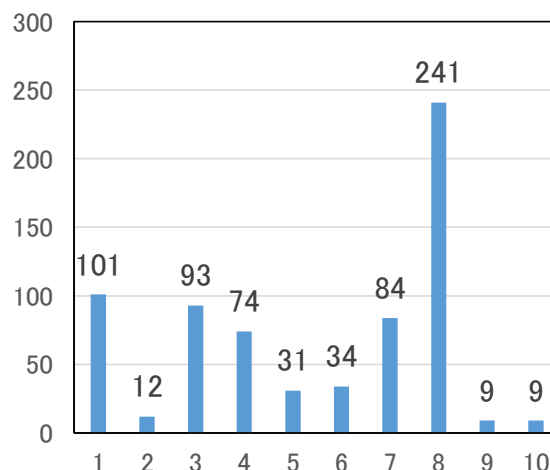
質問4-4 魚釣りをする場合は、水質を維持するために自然のバランスを崩さない配慮が必要です。釣り針などの除去に必要となる費用の利用者負担や、時間制限、人数制限、実施区域の制限などが考えられます。その前提で、魚釣りについてお答えください（複数回答可）。

- ①色々な制限があるのであれば魚釣りはしなくてもよい。
- ②魚釣りをするうえで、費用負担をするのは当然だ。
- ③魚釣りをするうえで、自然への配慮をするのは当然だ。
- ④魚釣りはしたいが、費用負担はしたくない。
- ⑤魚釣りはしたいが、自然への配慮はしたくない。
- ⑥元々、無料で自由に魚釣りのできたのだから、無制限にやらせるべきだ。
- ⑦魚釣りには興味がない。



質問4-5 魚釣り以外で水辺でやりたいことはありますか（複数回答可）。

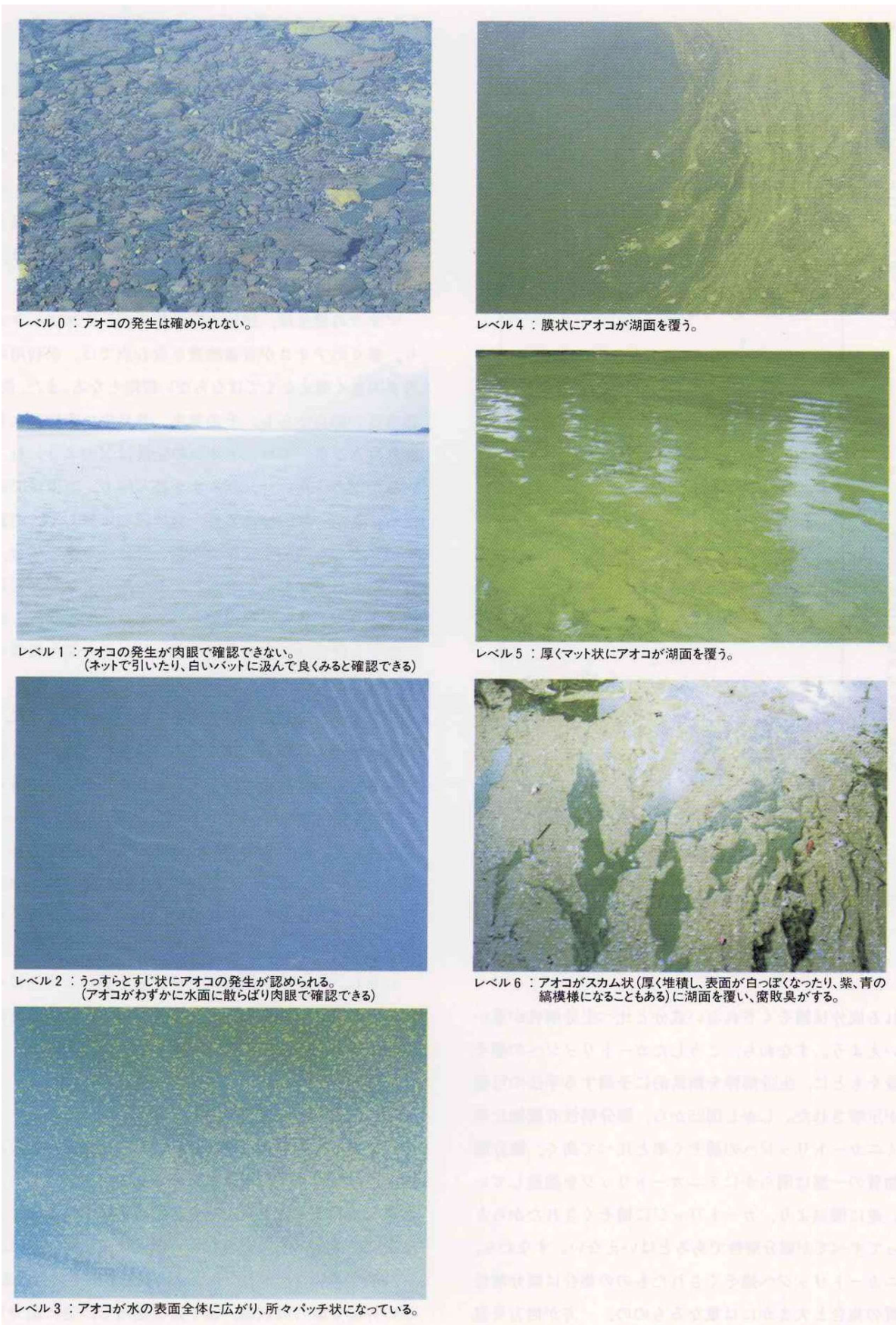
- ①この地域本来の自然とふれあったり、自然のことを学びたい。
- ②美しい水辺を守るためのボランティア活動がしたい。
- ③多くの在来種を観察したい。
- ④多くの生き物や自然風景の写真を撮りたい。
- ⑤ザリガニ捕りやトンボ捕りがしたい。
- ⑥池の周りで犬の散歩がしたい。
- ⑦水辺を眺めて、運動がしたい。
- ⑧水辺を眺めて、ゆっくりした時間を過ごしたい。
- ⑨その他、水に関するレクリエーションがしたい
()
- ⑩魚釣り以外にはない。



[⑨の記述]

- ・ボート
- ・犬が入れればよいです。
- ・子供と一緒にすごせるもの
- ・水上アスレチック、スワンボート
- ・滝の辺りやせせらぎが流れる広場周辺で、ホテルを見て、夜空（星）を見上げたいですね。

見た目アオコ指標



(出典：湖沼環境指標の開発と新たな湖沼環境問題の解明に関する研究 平成4～8年度)



上尾丸山公園水辺再生事業報告書
～みんなで進める地域本来の自然再生～

上尾市都市整備部みどり公園課

〒362-8501

埼玉県上尾市本町三丁目 1 - 1

TEL : 048-775-8129

FAX : 048-775-9906

URL : <https://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s355000/>

